

地域包括マッチング事業「マッチングイベント・PR大会」 登壇者一覧

自治体等	
自治体等	PR内容
中野区	中野区では、平成28年度に「中野区地域包括ケア推進プラン」を策定し、地域包括ケアシステムを推進している。その中で特に大学・企業等と連携し取り組みたい事項は、以下のとおり。①介護予防の観点から、高齢者の「栄養」に関する課題分析とそれに向けた事業の展開 ②MCI(軽度認知障害)の人を発見するための方策と、MCIの人を対象にした事業の展開 ③グリーンケア事業の構築
志木市	当市では、あらゆる地域資源を活用し、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるまちづくりを推進するため、「地域包括ケアスタートアッププログラム」を策定し、市役所全体で推進しています。平成30年度は、健康・医療・介護分野だけでなく、まずは全世代に関わるあらゆる地域活動を活性化するための取組みを行います。民間の視点を活かした幅広い提案をお待ちしております。
富津市	当市では人口減少と少子高齢化が進行し、商店や医療機関等の社会資源が乏しい。地域の助け合い活動を把握し、足りない活動を創出するため、市等が活動しているが、十分な成果に結びついていない。そのため、若い人を中心に、生活支援コーディネーターとして精力的に活動してくれる団体を募集したい。具体的には、月1回程度、各地区で会議を主催し、上記課題解決へのコーディネートをしてほしい。活動費用については要協議。
一般社団法人 全国住宅供給公社等 連合会	住宅供給公社は、中堅所得層向けに賃貸住宅及び分譲住宅を建設、供給してまいりました。高度成長期の人口流入に対応して建設した郊外立地の大規模団地やニュータウンにおいて、高齢期を迎えた皆様が安心して住み続けられるよう、見守りや家事援助等の生活支援サービス、介護予防サービスの提供が求められています。団地によっては、公社が所有する賃貸店舗、住宅付属の集会所等のスペースがあり、団地内や周辺にお住いの方向けのサービス提供の拠点として、あるいはイベント等の開催場所としてご活用いただくことができます。当連合会の会員公社の一部では、団地内居住者や地域住民の皆様向けの生活支援等のサービスや地域コミュニティの活性化につながる事業の展開に向け、自治体様と連携した取組みを求めています。

地域包括マッチング事業「マッチングイベント・PR大会」 登壇者一覧

大学、企業	
大学・企業	PR内容
埼玉県立大学	<p>本学は、地域貢献を果たすべく、①保健医療福祉分野の人材育成、②地域包括ケアに関する研究・事業に注力し、その一環として、①地域包括ケア計画策定、②在宅医療・介護連携推進等の事業展開、③地域ケア会議の運営等の支援を行い、市町村のニーズに応じた伴走型支援を図って参りました。こうした活動を通じて得られたノウハウを生かし、公立大学として、地域特性に応じた「地域づくり」に貢献していきたいと考えております。</p>
東邦大学	<p>本学は2014年度から文部科学省の「地域での暮らしや看取りまで見据えた看護が提供できる看護師の養成」事業に取り組んできた。今回はその成果物(下記に示した「物」と「人」)をできるだけ多くの方に活用していただき、さらなる課題に取り組む機会としたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「いえラボ」:地域包括ケアを看護師に限らずさまざまな方々と学び合える「いえ」 2.「いえラボ」で学んだ仲間たち:医療(看護)と福祉(介護)の連携の面白さを知った仲間
クオール株式会社	<p>当社では厚労省が推進している健康サポート薬局の適合店が中心となり、地域ケア会議への参画はもちろんのこと、セルフメディケーション推進、介護・疾患予防の啓発活動、子育て世代を支援する子育て大学開催等に積極的に取り組んでおります。地域ケアシステムにおける情報収集・発信源として、民間企業、医療・介護福祉関係者、行政機関、学校関係者、地域の生活者の橋渡し役としての機能を果たしていくことが可能だと考えます。</p>
ハウス食品グループ 本社株式会社	<p>■地域住民への取組内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「大人の食育コンテンツ」の提供: 多忙な中年代から高齢者まで、各性年代に必要な栄養情報や、調理技術など、「今さら人に聞きにくいけれど、高齢社会に生きるにあたって知っておいた方が良い食情報」を、イベント等で定期的に発信し、地域住民の健康意識を活性化します。 ②「コミュニティ(拠点)」の活性支援: 食イベントを通じて、地域内のボランティアやNPO、地域事業者の方々が連携するプログラムを提供し、多機能が支え合うコミュニティ作りを支援します。 <p>■行政へのご支援内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ③「人生100年時代」に求められる、「誰でも何歳でも、地域で働く場のある、暮らしやすい街づくり」のコンセプト開発を支援します。生活課題の調査を実施し、行政計画に資する分析データを提供します。
株式会社JTB	<p>当社では、社会課題解決型事業として、ヘルスケア事業を展開し、5つの領域(地域包括ケア、ヘルスツーリズム、日本版CCRC、地域健康増進、ヘルシーカンパニー)でのソリューション開発に取り組んでおります。</p> <p>地域包括ケアにおいては、生活支援サービスとして、高齢者向けの定額タクシーサービスや、ヘルスツーリズムを活用した健康増進、介護・フレイル・認知症予防などへのサービス提供が可能です。</p> <p>また各領域は互いに関連しあい全体的に取り組むことでシナジー効果が見込まれるため、自治体様の「健康まちづくり」の総合政策として地元企業とも連携をしてエリアマネジメントに貢献していければと考えております。</p>